

Question

女性スタッフはどんなスタイルで働いていますか？

アキ設計では、家庭を持つ主婦7名が働いています。1つ1つの物件をスタッフ間でシェアしているので、メインの担当者が不在の場合も対応可能です。また会社は週休3日。勤務時間も10~17時まで。家庭生活も大切にしつつ、自分のペースで働きたいという女性が活躍しています。

私自身が家庭を持っていても何らかの形で設計の仕事に携わっていたかったです。しかし家庭の中で子供を育てられるのも私1人しかいません。自分のペースで働きたいと思い、子供が小学校に上がった時に独立しようと思ったのです。

ヒアリングのポイントとは？

どんな暮らしをしたいのか？どんな物があったら楽しいか？等とお客様が求めているものを聞き出します。1週間の暮らし方などライフスタイルを知ること大切。また仕事を持たれる主婦だと時間の使い方が専業主婦と異なるので、家事動線に配慮した設計を行います。

活躍中の女性を紹介！

Woman × Woman

アキ設計 池上 裕子さん

(神奈川県川崎市)



主婦7名が活躍する設計事務所を経営

池上裕子さんは、女性が主体となって活躍する設計事務所・アキ設計(神奈川県川崎市)を経営している。新築・リフォームの設計に留まらず、生活に楽しみを持てるようなサービスを提供することで、もっとイキイキと暮らしを楽しんでもらいたいと考えている。

プラスαのサービスで自己実現サポート
「住まい作りは器を作つて終わりではない。お客様の暮らしは、そこからスタートなんです」

す。10年後もお施主様が楽しく暮らせる応援をしたいですね」
アキ設計では、女性の視点に立った暮らしやすい空間作りだけでなく、施主の暮らしにプラスα

の変化を与えることを事業「コンセプト」におく。「楽しく暮らせる仕掛けを家に施します。例えばクリスマス時期には飾り付けしてライトアップができるよう、普段は

「暮らしが楽しくなる“仕掛け”を施します」
趣味講座のコーディネートサービスも

使用しない箇所にコンセントを用意しておくとか、お友達が遊びに来た時に一緒に酒の用意ができるよう、誰でも食器棚から器を取り出しやすいようにするとか…」

また、レッスンパートナー」といって、気軽に外出や教室通いができない人に、英会話や園芸、楽器など専門講師の派遣サービスも用意する。施主の自己実現のためならば、想定外のサポートも厭わない。

以前も趣味のパン作りを極め、自宅で教室を開きたいと夢見る50代の施主がいた。池上さんは、教室に適したリフォームだけでなく、その先の教室運営もサポート。

「知り合いのカメラマンに頼んで写真を撮ってもらい、チラシやホームページを作りました。そのパン教室は今では14クラスも生徒を抱える人気教室になったんですよ」

四肢麻痺の施主との出会いがきっかけ

「器を変えることをきっかけにイキイキと楽しい人生を送ってほしい」そんな考え方を意識したのは7年前。ある女性との出会いがきっかけだ。女性とは子供が通う

保育園が同じで顔見知りだったが、子供が卒園した数年後、バイク事故で四肢麻痺の障がいを持つたこと知った。障害で首から下を動かせず、家を訪問するとそこは、いかに障がい者だと分かるような作りだった。玄関に入るとゴテゴテした手すりやエレベーターも見える。排泄がしやすいようにトイレにはあらゆる設備が取り付けられ、女性にとつて他人に見られたくない空間だった。

「気分が暗くなるから障がい者とは感じない家を作って欲しい」と頼まれました」
工事が進むと、その女性には家族が外出した後、体を動かさず一人で過ごしていることを知った。そこで不自由な身体でも家事を楽にできる設計を施すだけでなく、家の完成後も彼女に家での楽しみを見つけてあげられればとリビングでテーブルコーディネートネットを施しパーティールを開催した。さらにこんなことも。

「彼女はかろうじて薬指と小指を動かせました。そこでパソコンを習うのはどうだろうと提案し、実際にパソコンと講師を用意しました」
女性はずいぶん習得し

「その方は2年前に残念ながら亡くなってしまいました。しかし、最後の5年間は本当に楽しく、幸せに暮らせた」と仰って頂けて、それがとても嬉しく救われた思いになりました」

住宅設計は人がイキイキと暮らすための1つの手段。自宅をサロンに、が池上さんのポリシーだ。人が集える空間を創り楽しい人生を送ってもらいたいと考える。

Profile yuko ikenoue

一級建築士。アキ設計代表。神奈川県横浜市出身。大学の建築学科を卒業し、設計事務所に就職。10年間設計事務所に勤めた。結婚・出産後も仕事は続けていたが、子供が小学校に上がる際、34歳の時に独立。3年前にアキ設計に改組し法人化した。